



2010年05月30日



【先週のメッセージより】使徒1：12～26

## 聖霊降臨／聖霊の働き

●大麥の収穫の完了、小麦の収穫の開始の日がペンテコステ。なぜこの日に聖霊が下り、世界宣教の最初の日となったのか。メッセージでは触れなかったが、その理由としてイスラエル人たちが神の国に導き入れられる主イエスの働きから、異邦人たちが神の国に導き入れられる使徒と教会の時代に移行することを象徴していたからという見方がされる。弟子たちがその日、多くの国言葉で福音を語り始めたことは、正に、福音が全世界に広げられることを象徴していた。

●ところで、弟子たちに超自然的

に異国の言葉で話させることのできる神は、なぜ、超自然的に直接全ての人に福音を理解させ、救いの機会を与えないのか？ 無論、神の御心は全ての人々が神に立ち返り、永遠の命を得ることであるが神は私たちと共に、救霊の働きをなさりたいと願っておられるのである。それはとりも直さず、私たちが隣人を愛することを神が求めておられることを意味している。自分の生活を犠牲にしてでも何とか愛する人たちに福音を伝えたいと願うその愛を、神は用い、御自身の計画を実行なさるのである。

## 【今週の暗唱聖句】

金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げようナザレのイエス・キリストの名によって歩きなさい。 使徒3：6

●名前の力、NAME VALUEというものは、私たちの日々の生活の中でも重要な役割を果たす。有名ブランドのロゴがついているだけで、全く中身が同じ靴下でもはるかに高価だ。名詞に○×株式会社と書いてあるだけで、歴戦のビジネスマンが新入社員に頭を下げる。名前の力である。さて、全世界で最も優れた名、力ある名は何であろうか。それは神の御子、イエス・キリストの名に他ならない。上記の聖句を語ったペテロには、もはや疑いはなかった。自分が三年間共に生活したナザレのイエスこそ、救い主／キリストであり、全世界で最も偉大な名であることを確信していた。私たちが彼と同じ確信を抱きつつ歩みたい。そして、私たちが人に贈ることのできる最も高価で優れたプレゼントはイエスの名であることを覚えたい。■



## 【御霊に満たされるとは？】 ルカ文書（ルカ／使徒）での用例から考える

- 使徒2:4 すると、みなが聖霊に満たされ 使徒13:9 しかし、サウロ、別名でパウロは、聖霊に満たされ、彼をにらみつけて、言った。
- 使徒4:8 そのとき、ペテロは聖霊に満たされて、彼らに言った。「民の指導者たち、ならびに長老の方々。
- 使徒4:31 彼らがこう祈ると、その集まっていた場所が震い動き、一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語りだした。
- 使徒7:55-56 しかし、聖霊に満たされていたステパノは、天を見つめ、神の栄光と、神の右に立っておられるイエスとを見て、こう言った。「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。」
- 使徒13:52-14:1 弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。イコニオムでも、ふたりは連れ立ってユダヤ人の会堂にはいり、話をすると、ユダヤ人もギリシヤ人も大ぜいの人が信仰にはいった。
- ルカ1:41-42 エリサベツがマリヤのあいさつを聞いたとき、子が胎内でおどり、エリサベツは聖霊に満たされた。そして大声をあげて言った。「あなたは女の中の祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。」
- ルカ1:67 さて父ザカリヤは、聖霊に満たされて、預言して言った。

●人が「御霊／聖霊」に「満た」されることを新約聖書の中で記録しているのは、医者ルカである（14回）。他にパウロが一度だけ「御霊に満たされなさい」と命令している。上記の用例を調べて見るならば、共通点は「聖霊に満たされた」人が必ず何がしかの宣教の言葉を「語っている」ことである。これは使徒1:8でイエスが説明した通り聖霊が人に望むと、その人は力を受け、大胆に証しをすることと呼応している。「聖霊に満たされた人は宣教の言葉を語る」のである。

●更に使徒2:4と4:31を比べて見るならば、同じ人たちが、同じように聖霊に満たされ、同じように語り出している。2章では外国語で、4章では恐らく自国の言葉であったのだろう。しかしポイントは、満たされるという経験は一回だけのものではなく、繰り返されるということである。満たされていない時があるからパウロは御霊に満たされるよう命令したのだ。「御霊の満たしは繰り返す」ものである。

●上記の用例以外に直接「聖霊／御霊」に「満た」されることについて聖書が沈黙している以上、人が主イエスの十字架を見上げ、悔い改めてイエスを主と告白する「回心する体験と、「聖霊の満たし」とを同一視することはできない。確かに「聖霊によるのでなければ誰も「イエスは主です。」と言うことはでき（1コリ12:3）」ず、信じた者には助け主としての聖霊が与えられ、人は聖霊の宮（1コリ6:19）となるのであるが、聖霊の宮であり聖霊が内住していることと、その聖霊の力に満たされて大胆に宣教のために語っている状態とは区別すべきで、異なったことを表現していることを理解する必要がある。■